



串木野中学校教頭通信

# Kyo to correspondence

～当たり前のことを当たり前～

第12号

令和5年 7月 4日 (火)

いちき串木野市立串木野中学校教頭  
文責 長岡

## 租税教室

「税」について問われたら、皆さんはどのように答えますか？税とは「取られるもの」「仕方なく納めるもの」「納めなければならぬ」等、ネガティブな感想が多いのではないのでしょうか？ちなみに教頭先生もそのような気持ちを抱いていました📧

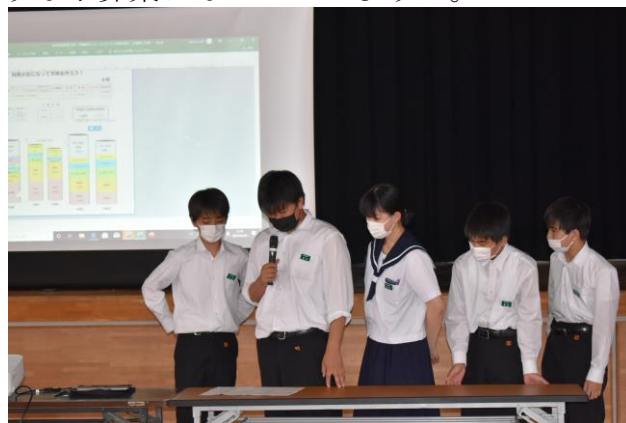
現在串木野中学校では、「租税教育」の充実ということで『税』に関して勉強する機会を設けています。6月には生徒対象の「財政教室」や保護者を対象に家庭教育学級でも行いました。



「租税教育」という言葉を聞くと、単に国民が税金を払う義務を教えるものと想像しますが、税金をきちんと払うという道徳観を植え付けることだけを目的とする教育ではありません。この国の主権者として、税に対する関心を持ち、正しく税金を支払うことに加えて、租税が国家国民のために正しく活用されているかを監視するといった、健全な納税者意識の醸成も目的の一つです。

租税教室を通して、これからの日本社会を担っていくであろう串木野中学校の皆さんを含めた若い世代が、税のしくみを知ることで「税金を納めてより良い日本にするぞ！」という意識が高まっていけば、今よりはるかに日本が豊かになると期待できます。

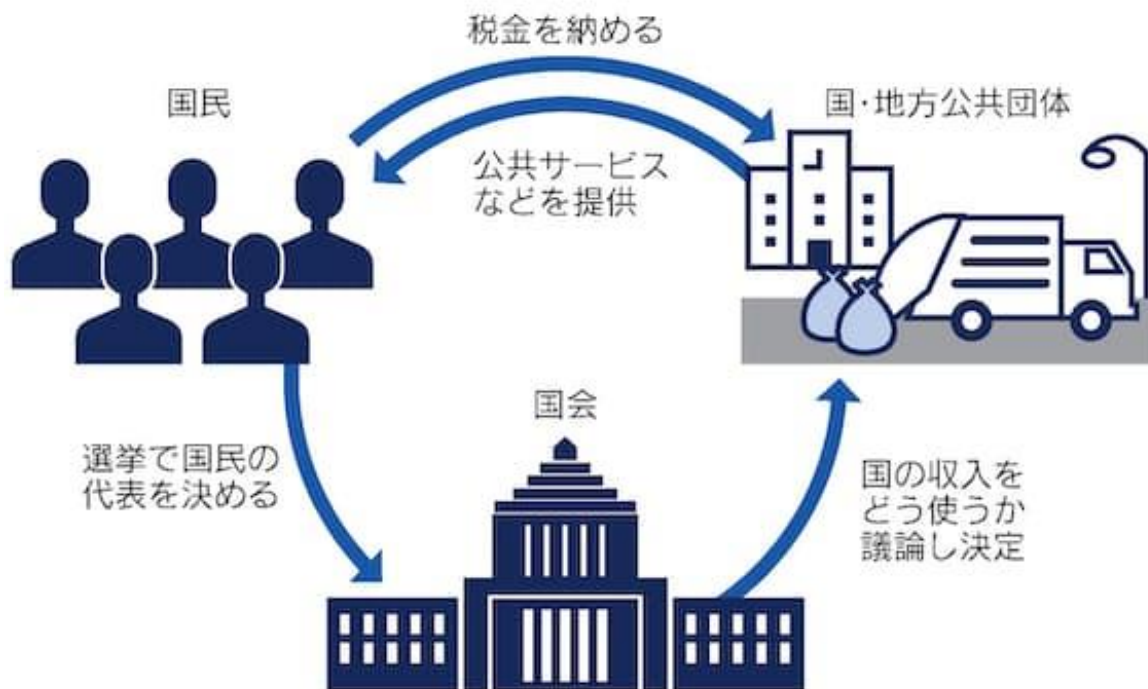
6月9日（金）は2年生、3年生を対象に財政教室が行われました。各グループで、財務大臣になって予算を作成しました。どのような予算案になったのでしょうか。



子供たちの感想です。

- 映像を見て、財政のことをしっかりと理解することができた。また、グループ活動を通しての意見交換や、他の組のグループの考え方を共有できたので良かった。これを機に、いろいろな税のことを改めて見直すことができた。また、自分でもこれから税についてどんどん知っていくべきだと感じた。【2年 坂元 かりん さん】
- この授業を受けて、税金は自分たちの身近なところにあり、しっかりと考えていけないといけないという問題とわかった。【2年 岩谷 優次郎 さん】
- 財政についての授業を受けてみて、今の日本の財政がどれだけ苦しい状況なのかを知りました。私たちが今後引っ張って行く立場になるので、今のうちに財政についての知識を深めたいと思いました。【2年 室之園 穹美 さん】

# 税の仕組み

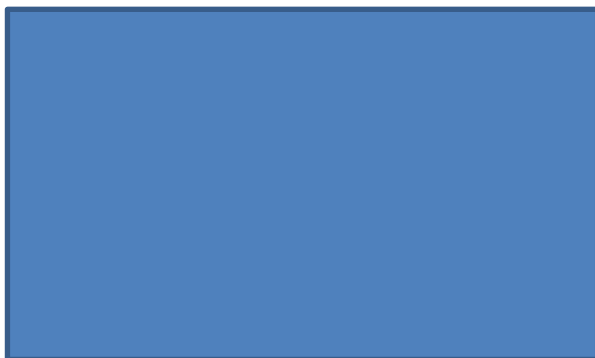


もし税金が無かったら…

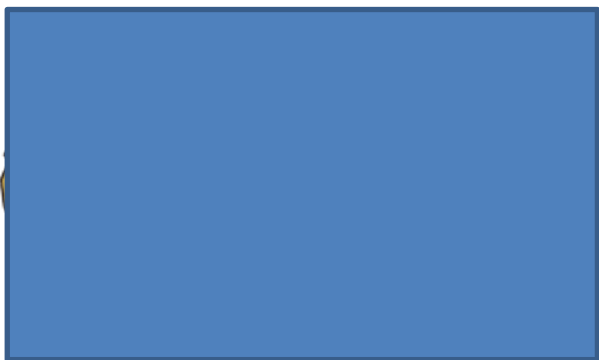
**救急車が有料に**



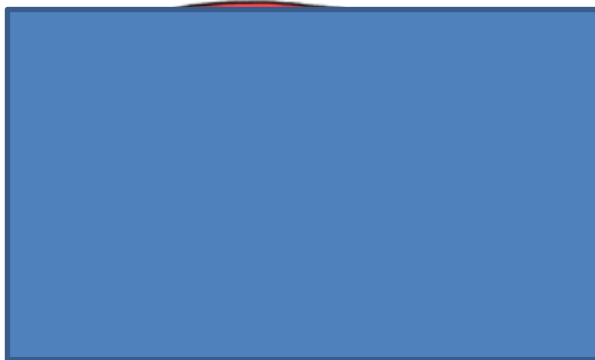
**医療費がすべて自己負担に**



**ごみ収集が有料に**



**交番が有料に**



公共サービスを受けるのにすべての費用を自分で負担しなければならず、困ります。みんなが豊かで安心して暮らしていくのに、税金はとても大切なものですね。